

平成30度新潟市美術館展示スケジュール

新潟市美術館

◆開館日 262 日間

◆企画展 224日

休館日 103 日

◆常設展 247日

開館延長 0 日

	4月														5月																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
企画展示室	予備日・メンテナンス										展示作業				小倉遊亀 絵筆にこめた愛 展																																													
常設展示室	ドラマツルギー										展示替え				コレクション展Ⅰ「まる、はじまりのかたち」																																													

	6月														7月																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
企画展示室	撤収										予備日				展示作業				阿部展也展																																									
常設展示室															撤収																																													

	8月														9月																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
企画展示室	阿部展也展														撤収作業				拡大コレクション展																																									
常設展示室																			コレクション展Ⅱ「LANDSCAPE: 水土の作家×NCAMコレクション」																																									

	10月														11月																																													
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29
企画展示室	市展準備				市展(前期)				市展(後期)				予備日				展示作業				ピカソ 版画をめぐる冒険 フランス国立図書館コレクション																																							
常設展示室																																																												

	12月														1月																																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
企画展示室	撤収作業														集荷				展示				東郷青児展																																						
常設展示室	展示替え				コレクション展Ⅲ「美術の偶然！」(～4/7)																																																								

	2月														3月																																														
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
企画展示室	東郷青児展																	撤収																																											
常設展示室																																																													

平成30年度 新潟市美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期間	事業名	内容	予算額 (単位:千円)
4月20日～ 7月29日	コレクション展Ⅰ 「まる、はじまりのかたち」	単純でありながら、多様な造形と意味が生まれくる可能性に満ち溢れた「まる」というかたちに焦点を当て、柔らかに、ときには渦を巻きながら生まれくる、丸い形のモチーフや、「まる」そのものを表現した作品などを紹介する。	800
8月7日～ 12月2日	コレクション展Ⅱ 「LANDSCAPE: 水土の作家× NCAMコレクション」	「水と土の芸術祭2018」にちなみ、作家それぞれの「土地に対する視点」、すなわち「LAND 'SCAPE」(風景)をテーマに、水と土の芸術祭出品作家の現在に至る作品と新潟市美術館(NCAM)のコレクションを取り合わせて構成する。	
12月7日～ 4月7日	コレクション展Ⅲ 「美術の偶然！」	「偶然」が生み出す、作者でさえも思いもよらない表現。精巧な美術作品とはまた違った魅力に着目し、デカルコマニーや写真作品、シュルレアリストたちが採用した自動筆記法など、美術のなかの「偶然」を切り口として構成する。	
9月6日～ 9月24日	拡大コレクション展 「正誤表」	水と土の芸術祭の開催中に、所蔵品を活用し、美術館やコレクションという制度を問はず展示及び関連シンポジウムなどを予定。	

2. 企画展

期間	事業名	主催	内容	予算額 (単位:千円)
4月14日～ 6月10日	滋賀県立近代美術館 所蔵 小倉遊亀 絵筆にこめた愛	実行委員会 (新潟市・BSN)	小倉遊亀(1895-2000)は、女性として初めて院展に入選、日本の伝統を重んじながらも現代的な感覚を取り入れた独自の世界を築いた。故郷である滋賀県立近代美術館のコレクションからの約50点によりその画業をたどる。	10,800 (うち新潟市 負担分5,400)
6月23日～ 8月26日	阿部展也 あくなき越境者	新潟市	新潟県五泉市に生まれ、ローマで没した阿部展也(1913-71)。出世作の『妖精の距離』から、晩年の幾何学的抽象「R」シリーズまで。世界的視野に立ち、あくなき創造の探求を続けた足跡を約200点の作品と資料でたどる。	10,000
11月3日～ 12月16日	ピカソ 版画をめぐる冒険 フランス国立図書館 コレクション	実行委員会 (新潟市・TeNY)	生涯に2000点以上に及ぶ版画を手掛けたとされるピカソ。フランス国立図書館のコレクションより、美術史における主要画家の作品や伝統的な主題を、ピカソならではの解釈と版画技法により制作した作品を紹介する。	9,000 (うち新潟市 負担分3,600)
1月12日～ 3月24日	東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館 東郷青児展	新潟市	都会的な雰囲気、の漂う洗練された女性像で知られ、戦後美術の大衆化を力強い指導力で牽引した東郷青児(1897-1978)。初期の滞欧中の作品から晩年の作品まで、二科展への出品作を中心に約100点を展示。	7,000

II 教育普及事業

1. コレクション展関連

展覧会	事業名	内容
コレクション展Ⅰ	ギャラリートーク	学芸員による展示作品の解説など 4回(4/28、5/26、6/23、7/28)
コレクション展Ⅱ		学芸員による展示作品の解説など 4回(8/25、9/15、10/20、11/24)
コレクション展Ⅲ		学芸員による展示作品の解説など 4回(12/22、1/26、2/23、3/23)

2. 企画展関連(※現在開催が決定している事業分のみ)

展覧会	事業名	内容
滋賀県立近代美術館 所蔵 小倉遊亀 絵筆にこめた愛	講演会	「小倉遊亀の生涯と画業」 ・講師：國賀由美子氏(大谷大学文学部歴史学科教授[日本絵画史]、 元滋賀県立近代美術館専門学芸員) ・日時：5月13日(日)午後2時～ ・会場：新潟市美術館講堂
阿部展也 あくなき越境者	講演会	「阿部展也の魅力」(仮) ・講師：大谷省吾氏(東京国立近代美術館美術課長) ・日時：未定 ・会場：新潟市美術館講堂

3. 学校向け教育普及事業

期間	事業名	内容
6月～2月	ARTRIP (アートリップ)	美術館での鑑賞体験をさらに深めるために、学芸員による学校での出張授業(出前)と美術館での団体観覧(送迎バス)をセットにしたプログラム。指導目標、授業のねらいに応じて、学校と話し合いながらオーダーメイドの鑑賞授業を行う。
各企画展開催 期間中の1週間	教職員 視察ウィーク	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。「鑑賞のガイド」を発行するとともに、モニターアンケートを実施。

4. 各種講座

期 間	事 業 名	内 容
6月～3月	美術講座	館長および学芸員が各回を担当する講座(全8回程度を予定)。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施。
6月～3月	実技講座	作家を講師に招き、実際の制作を中心に行う講座(全2回を予定)。
8月	夏休み子ども講座	小中学校の子どもを対象に、館内の探索や実制作によって美術に親しんでもらう講座。水と土の芸術祭ともプロジェクトと連携して行う。

III 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

- ・日ごろの調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市新津美術館と共同で『研究紀要』としてまとめる

(2) 年報の発行

- ・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の活動に活かすため、『年報』としてまとめる。

IV 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

- ・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、定期的な真菌菌数検査、IPM(総合的有害生物管理・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

- ・作品の額装や修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

- ・作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図る。

V 施設普及事業ほか

- ・美術館ニュース「Wave」の発行、Lounge Nでの「きままプログラム」やコンサートなどの施設普及イベントを実施予定。

平成30年度 新津美術館 事業計画

I 展覧会事業

1. コレクション展

期間	事業名	内容
4月7日～ 5月20日	I 描かれた女性たち	裸婦像や母子像、働く姿など、様々なかたちで描かれた女性の姿を紹介。
6月2日～ 8月19日	II もこもこ・とげとげ・ つるつる	色や形、質感に着目して、作品の名前を考えてみる。
9月1日～ 12月2日	III 笹岡了一とその周 辺	コレクションの核となる作家笹岡了一をはじめ、秋元松子、篠崎輝夫、大橋廣治などの 周辺作家を紹介。
1月4日～ 3月10日	IV 絵の中の不思議な 世界	東欧の絵本原画や猪爪彦一の油彩画など、想像力をかき立てる不思議な世界に誘う。

2. 企画展

期間	事業名	主催	内容	予算額 (単位:千円)
4月7日～ 5月20日 (40日)	足立美術館所蔵 横山大観と 近代日本画名品展	実行委員会 (新潟市・新潟 日报社・NST)	新潟日報メディアシップ5周年、NST開局50周年を 記念して、自主企画として開催。 本展覧会では、足立美術館の日本画コレクションの 中から、横山大観作品20点、近代日本画の巨匠たち の名品の数々を一堂に紹介する。足立美術館の所蔵 品の新潟での公開は今回が初。 《自主企画展》	30,000 (うち新潟市 負担分10,000)
6月2日～ 8月19日 (70日)	ぼのぼの原画展	実行委員会 (新潟市・新潟 日报社・NST)	連載開始から30年を経た今もお、絶大な人気を誇る 4コマ漫画「ぼのぼの」。いがらしみきおの織りなす 不条理なギャグと哲学、ぼのぼのが融合した作風が 人気を博し、テレビアニメシリーズや映画など映像化 されているほか、絵本や詩画集も多く刊行されてい る。 本展覧会では、原画を中心に絵本や詩画集など、 「ぼのぼの」の魅力を余すことなく紹介する。 《巡回展》	15,000 (うち新潟市 負担分5,000)
9月1日～ 11月11日 (63日)	リサ・ラーソン展	実行委員会 (新潟市・新潟 日报社・UX)	スウェーデンを代表する陶芸家、リサ・ラーソンは可 愛らしくユニークなデザインの作品を制作しており、日 本をはじめ海外でも多くの女性から人気を得ている。 本展覧会では、世界中で愛されている動物シリーズ を中心に、インテリア用の作品も含み約200点で構成 する。 《巡回展》	15,000 (うち新潟市 負担分5,000)
1月19日～ 3月10日 (45日)	エドワード・ゴッリーの 優雅な秘密	新潟市	不思議な世界観と、モノクロームの緻密な線描で異 色の絵本作家として知られるゴッリーの作品を紹介。 世界各国で開催された原画展が日本に初めて巡回 するもので、ゴッリーの原画や制作活動を知ることが できる書籍、資料など約350点を展示し、その優雅な 秘密に迫る。 《自主企画展・巡回展》	10,931

3. 共催の展覧会

期 間	事業名	主 催	内 容
1月4日～ 1月13日	第15回 新潟教育アート展	下越美術教育研究会	下越地区を中心に、県内の保育園、幼稚園、小中学生、高校生の作品の展覧会

4. その他の主催展覧会

期 間	事業名	主 催	内 容
会期末定	移動美術館	新潟市	展覧会名「蒐める楽しみ 小さな優品たち 併陳 新収蔵作品」 新潟市江南区文化会館内郷土資料館展示室において、寄贈を受けた小品や新津美術館の新収蔵品を中心に展示

II 教育普及事業

1. 企画展関連（※現在開催が決定している事業分のみ）

展覧会	事業名	内 容
足立美術館 名品展	講演会	「横山大観と日本美術院」 ・講師：日本美術院 番場三雄氏 ・日程：4/22(日) ・会場：新津美術館
ぼのぼの 原画展	こどもごほん展	Hama「こどもごほん」写真展 ・日程：7/28(土)～8/12(日) ・会場：新津美術館

2. 学校向け教育普及事業

期 間	事業名	内 容
6月～12月	出前美術館	申し込みのあった学校(小学校・中学校・高校)へ、作家とともに出向き、作家の話を聞いたり、作品制作体験などのふれあいの中で、美術の楽しさを伝える。アーティストと作品を出前する事業。 (参考)H29年度講師：新潟市マンガ・アニメ情報館 近藤康宏氏(マンガ家)、木原四郎氏(イラストレーター)、櫛谷一代氏(日本画家)ほか
各企画展 開催期間中	教職員視察研修観覧	教職員に展覧会を視察してもらい、学校との連携事業についてのきっかけづくりを行う。
未定	教職員向け鑑賞講座	図工・美術における鑑賞教育について教職員向けに講座を実施する。

3. 各種講座

期 間	事業名	内 容
未定	美術講座	館長及び学芸員が各回を担当する講座。開催中の展覧会に関連した内容または各自の研究に沿った内容で実施。

Ⅲ 調査研究事業

(1) 研究紀要の発行

- ・日ごろの調査研究活動の成果や記録を今後の活動に活かすため、新潟市美術館と共同で『研究紀要』としてまとめる。

(2) 年報の発行

- ・美術館の諸活動を他の美術館や関係機関に報告するとともに、今後の活動に活かすため、『年報』としてまとめる。

Ⅳ 収集保存事業

(1) 収蔵・展示環境保全

- ・収蔵庫、展示室の温湿度の管理、定期的な真菌数検査、IPM(総合的有害生物管理・虫等の生物被害未然防止対策)を行う。

(2) 作品保存・修復

- ・作品の額装、修復を行い、作品の状態を良好に保つ。

(3) 作品管理

- ・作品のデータベース化をすすめ、カードとデータの2元管理を行い、事務の効率化を図る。

Ⅴ 施設普及事業ほか

(1) ミュージアムコンサート

- ・新潟美術館の特徴であるアトリウム空間や展示室を活用して、コンサートを実施する。

(2) 利用者にやさしいサービス

- ・各展覧会会期中の毎月第2・第4の木曜・土曜日に「託児サービス」を実施する。
- ・各展覧会会期中の毎月第1・第3の木曜・日曜日に、親子で語り合いながら鑑賞できる「こどもタイム」を実施する。
- ・各展覧会会期中に1～2回は月曜日を閉館する「あいてマンデ～」を実施する。

(参考) 新潟美術館の職員体制(9人)

館長 1人

副館長 1人

学芸担当職員 4人

総務担当職員 2人

非常勤職員(学芸員) 1人

新潟市美術館及び新津美術館の運営方針について

H30. 2. 14

I 運営方針

1 新潟市美術館

政令市にふさわしい、市民に開かれた個性あふれる美術館

(1) 発見する美術館

あるもの（館蔵品を含む地域の多様な文化資源・自然環境）を活かし、新たな知を掘り起す、「発見する美術館」

(2) 学べる美術館

教育普及の事業を通じて、あらゆる世代の市民が「学べる美術館」

(3) 生きている美術館

さまざまな芸術が交差し、訪れるたびに心躍る「生きている美術館」

(4) つながる美術館

市民同士、地域の文化施設相互が「つながる美術館」

(5) 信頼の美術館

高い質を保ち、市民が誇れる「信頼の美術館」

2 新津美術館

市民と連携しながら、愛され親しまれる美術館

(1) 何かが見つかる美術館

美術館の持つ資源を活用して、市民に美術に対する新たな発見と感動の場を提供し、豊かな創造力を育む「何かが見つかる美術館」

(2) 明日へ向かう美術館

美術資料の収集・整理・保管を充実・強化するとともに、次世代に引き継ぐための活用・普及を実践する「明日へ向かう美術館」

(3) みんなと歩む美術館

他施設との連携や来館者とのコミュニケーションを図り、市民の視点に立った取り組みを実践する「みんなと歩む美術館」

2 設置目的

(1) 新潟市美術館

芸術に関する市民の知識及び教養の向上に寄与すること

(2) 新津美術館

市民の芸術に関する知識及び教養の向上並びに芸術文化の交流の推進に寄与すること